

海軍公報

(部内限) 第三千百十八號

海軍大臣官房

昭和十四年二月二十五日(水)

○令 達

官房第四三八號

臨時軍事費特別會計廢入科目中左ノ通追加ス

昭和十四年二月二十五日

海軍大臣

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(軍資金)	(軍資金)	小切手支拂 未済金收入			ユ六

○通 牒

官房第三一四號ノ三

昭和十四年二月二十五日

海軍省副官

關係各廳長殿

報國號飛行機要目發表範圍寫真撮影ニ

關スル件通牒

來二月十二日鹿兒島市下荒田町與次郎ケ濱ニ於テ命名式舉行豫定ノ報國號飛行機ノ要目發表範圍ニ關シテハ左記ニ依ルコトト御了知相成度

記

- 一、報國號飛行機要目發表範圍
報國第二五八號(華人號)
同 第二七九號(高千穗號)
機種 水上偵察機
座席 二
全幅 一・〇米
全長 八・五米
全高 四・〇米
- 二、寫真撮影 特ニ許可ヲ得タルモノノ外禁止

艦本機密兵電第八九號

昭和十四年一月二十四日

海軍艦政本部長

海軍公報(部内限) 第三千百十八號

昭和十四年二月二十五日

關係各廳長殿

九二式高聲電話器用補用品流用ノ件照會(各長主管)
九二式高聲電話器ヲ有スル艦船ニ供用中ノ當該補用品
ハ左記ニ依リ流用ノコトト了知相成度

記

一、電話器ガ二主管以上ニ供用シアルニ不拘之ガ補用
品ヲ砲術長主管ノミニ供用シアル場合

砲術長主管トシテ供用中ノモノヲ他主管ニ之ヲ流用
ス

二、砲術長及機關長ノ二主管ニ供用シアル場合

砲術長主管トシテ供用中ノモノハ當該主管トシテ之
ヲ專用シ機關長主管トシテ供用中ノモノハ他主管ニ
之ヲ流用ス

○辭令

海軍少佐 小 關 晟

第一課勤務ヲ命ス(海軍省軍務局)

○雜款

○將旗一時移揚

吳防備戰隊司令官ハ一月二十三日將旗ヲ一時白鷹ヨリ
矢風ニ移揚セリ

○軍艦大井行動豫定

地名 着

發

吳地	安下	德山	門分	大灣	吳島	安下	德山	門分	大灣	吳島	安下	德山	門分	大灣	吳島
	一月二十五日	一月二十六日	一月二十七日	一月二十八日	一月二十九日	二月一日	二月三日	二月四日	二月五日	二月六日	二月七日	二月八日	二月九日	二月十日	二月十一日

○郵便物發送先

軍艦大井、白鷹宛	一月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ	吳門
二月二日迄ニ	同	吳門
同五日迄ニ	同	吳門
共ノ後ハ		吳門

○艦船所在

△印ハ「ホ」指定ヲ要セス

○一月二十五日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔△五十鈴△山城、陸奥、

嚴島、多摩、春日△神威△利根△北上△

劍埼△、△沖島、木曾、駒橋、蒼龍

△曉、漣、狹霧、△村雨△、夕立△、春雨△

五月雨△、沖風、叢雲

富士△、洲崎△、鳴戸、尻矢、膠州△

(飛龍)△(高崎)△(掃一〇)△

【長浦】

夏雲、朝雲、峯雲、△神風、野風、沼風、

波風、△電、雷、響、山雲、帆風、△島風、

汐風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

△伊一二三、伊一二四、伊六

【横濱】

襟裳△

【浦賀】

(霞)△(不知火)△(掃八)△(掃一一)△

【館山】

澤風△

【大湊】

夕風

大泊

【函館】

吳竹△

【吳】

矢矧、韓崎、比叡△、淀、淺間、古鷹△、

加古、最上、鈴谷、神通、天龍△、千代田、

日向△、白鷹△、大井

夕顔、若竹、早苗、△菊、葵、萩、△薄△

藤△、葛△、△芙蓉、朝顔、刈萱、△矢風△

呂五一、呂五三、呂二六△、呂二七△

呂二八△、伊五一、△伊五七、伊五六△

伊五八、伊七二△、△伊六六△、伊六五△

伊六七、伊七〇△、△伊六二、伊六四、

伊六一、△伊一、伊二、伊三、

△伊一二一、伊一二二

鸞△、雁△

攝津、隱戸、石廊

(伊一六)△

(黑潮)△

【大阪】(黒潮)△

【神戸】呂七七△、呂五九△、△伊六八

(初風)△(伊二二)

【相生】早稻△

(瑞穂)△

【因ノ島】△旗風△、春風△

【江川内】平戸△

【宿毛】同宮

【佐伯】△島海、摩耶、△熊野、三隈、△那珂、

△阿武隈

△朧、略、潮、△天霧、朝霧、夕霧、△初雪、

△白雪、吹雪

△伊七五、伊七四、△伊七三、伊七二、

△呂三四、呂三三、伊八

【細島】△龍驤

海軍公報(部内限)第三千百十八號 昭和十四年一月二十五日

【舞鶴】

東雲、薄雲
吾妻、高雄、長鯨、愛宕、迅鯨
敷波、磯波、白雲
伊五二

【佐世保】

(霞)(陽炎)(親潮)(掃九)
榛名、那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、
千歳、能登呂、龍田、八重山
梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、葦、柿、
楡、蓬、菱、水無月、皐月、
文月、長月、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、
彌生、如月、卯月、夕月、白露、有明、
夕暮、時雨、初霜、峯風
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、
呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、
伊六九

【長崎】

眞鶴、初雁、千鳥、友鶴
掃七
敷島、鶴見
(明石)(伊一八)
羽黒
佐多
(筑摩)

【有明灣】

赤城
追風、疾風

【鎮海】

浦波、綾波
室戸

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、足柄、球磨、妙高、
名取、長良、嵯峨、勝力
栗、母、蓮、菊月、睦月、望月、三日月、
灘風、夕風、朝風、秋風、羽風、
太刀風、松風、朝風
鴨、鶴、隼、鴻、鳩、雉
掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、野島、知床

【航海中】

磐手 (二十二日「サイパン」發―館山へ)
長門、伊勢、扶桑、霧島、金剛、山良、鬼怒、
川内、大鯨、若葉、子日、初春、江風、海風、
涼風、山風、伊五、伊四、伊五五、伊五三、
伊五四、伊六三、伊五九、伊六〇、伊七 (二十
五日佐伯發―宿毛へ)

海軍公報

(部内限) 第三千百十九號

昭和十四年一月二十六日(木)
海軍大臣官房

○感 狀

感 狀

近藤海軍少將ノ指揮セン

揚子江部隊

昭和十三年八月二十二日漢口攻略戦開始セララルヤ峻嶮ナル地勢竝ニ高水期ニ於ケル奔流ノ間ニ約三箇月ニ亘リ敵ノ猛烈ナル銃砲火ト闘ヒ觸雷ノ危険ヲ冒シツツ敢然進撃シ就中掃海隊員特別陸戰隊員ノ勇戦奮闘ニ依リ田家鎮要塞ノ主體タル象山馮家山ノ砲臺竝ニ半壁山要塞ヲ陥レ更ニ漢口ニ至ル江岸ノ諸堅壘ヲ急速攻略シ武漢三鎮ヲ死守セントスル敵配備ノ中央ニ破綻ヲ生ゼシメ以テ全作戦ヲ促進シ陸軍ト共ニ武漢占領ノ偉功ヲ奏シタルハ武勳顯著ナリ

昭和十三年十一月十五日

支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

感 狀

第一聯合航空隊

昭和十三年八月二十二日漢口攻略戦開始セララルヤ敵空軍ノ大部ガ遠ク四川省内ニ後退シ常時密雲ニ閉サルル省境一帯ノ天險ヲ恃ミテ只管其ノ整備ヲ急ギツツアリシニ對シ之ガ先制撃破ノ爲着々周到ナル準備ヲ整ヘ四川省方面天候回復ノ兆ヲ認ムルヤ機ヲ失セズ長驅進撃成都重慶梁山ノ敵空軍根據地ヲ強襲スルコト前後七回熾烈ナル防禦砲火ヲ冒シ激烈ナル空中戦闘ヲ交ヘ敵機二十數機ヲ撃墜三十餘機ヲ爆破シ軍事諸施設ヲ潰滅シタルハ作戦ニ寄與セシ所極メテ大ニシテ其ノ武勳顯著ナリ

昭和十三年十一月二十日

支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

感 狀

第二聯合航空隊

昭和十三年八月二十二日漢口攻略戦開始セラルルヤ敵航空兵力ヲ制壓驅逐シテ其ノ活動ヲ封ズルト共ニ海軍

迎江作戦部隊ニ協力シテ江岸敵陣地ヲ制壓シ頑敵ノ飽

ク迄其ノ進路ヲ阻マントスルヤ大飛行機隊ノ連續爆撃

ニ依リ一舉之ヲ潰滅シテ進撃路ヲ啓キ又複雑多岐ナル

陸軍各方面ノ戦闘ニ協力シテ偉功ヲ奏シ特ニ友軍戦線

ニ反撃シ來レル優勢ナル敵ニ對シ猛烈果敢ナル攻撃ヲ

加ヘテ局面ヲ打開シタルノミナラズ雄大ナル攻撃力ヲ

以テ反覆敵後方據點交通機關軍事諸施設ヲ撃破スル等

作戦全局ノ進展ニ寄與スル所極メテ大ナリシハ其ノ武

勳顯著ナリ

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十三年十一月十五日 支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

感 狀

第三航空戦隊

昭和十三年八月二十二日漢口攻略戦開始セラルルヤ海軍迎江作戦部隊及江岸附近陸軍作戦部隊ニ協力シ連日不休身ヲ挺シテ敵情ヲ詳ニシ常ニ上空ヲ制シテ敵ノ活動ヲ封シ堅陣ニ對シ勇猛果敢ナル攻撃ヲ反覆シ頑敵ヲ撃破シテ友軍ノ進撃路ヲ啓キ以テ作戦ノ進展ニ寄與ス

ル所極メテ大ナリシハ武勳顯著ナリ

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十三年十一月十五日 支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

感 狀

廣東攻略戦ニ參加シタル海軍航空部隊

昭和十三年十月十二日廣東攻略戦開始セラルルヤ特ニ緊密ニ陸軍ノ作戦ニ協同シ或ハ迅速適切ニ敵情ヲ通報シテ其ノ作戦指導ニ資シ或ハ正面ノ頑敵ヲ粉碎シテ友軍ノ進路ヲ啓開シ或ハ遠ク敵ノ増援部隊ヲ撃破シテ其ノ企圖ヲ挫折セシメ或ハ一路廣東ニ邁進スル部隊ノ側背ヲ警戒掩護シテ後顧ノ憂ナカラシメ或ハ又險難ノ迂路ヲ踏破スル友軍ニ糧食ヲ補給シテ其ノ機動ヲ援クル等終始極メテ適切且勇敢ニ行動シ以テ大イニ攻略作戦ノ進展ヲ速カナラシメ旬日ニシテ作戦目的ヲ達成スルヲ得タルハ武勳顯著ナリ

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十三年十一月十五日 支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

感 狀

支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

仍テ茲ニ感狀ヲ授與ス

昭和十三年十一月十五日 支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

感 狀

支那方面艦隊司令長官 及川古志郎

		○令達		
		官房第四三九號 捷 要 昭和十三年官房第六九三號中「法務官 兼務一人」ヲ 「法務官 兼務二人」ニ改ム 同年官房第五〇五二號第五艦隊軍法會議ノ項中警査ノ 欄「兼務一人」ヲ「兼務二人」ニ改ム 昭和十四年一月二十五日 海 軍 大 臣		
		(参照) 昭和十三年官房第六九三號ハ第四艦隊軍法會議ニ法務 官及録事配員ノ件ナリ(昭和十三年二月十二日海軍公報 (部内限)、同年官房第五〇五二號ハ法務官、録事及警 査配員ノ件ナリ(同年十月五日海軍公報(部内限)) 官房第四四四號 昭和十三年度歳出科目中左ノ通追加ス 昭和十四年一月二十五日 海 軍 大 臣		
		○通牒		
		官房第四五八號 捷 要 昭和十四年一月二十六日 海 軍 次 官 關係各廳長殿 官應用石油ノ消費規正ニ關スル件通牒 首題ノ件ニ關シ擬ニ昭和十三年官房第二六一五號ノ二 ヲ以テ通牒候處商工次官ヨリ更ニ別紙ノ通照會有之候 條一層節約ニ努ムル様留意相成度尙木炭瓦斯發生爐ノ 積極的利用ニ關シ特ニ配慮相成度 (別紙) 一三燃料第二〇二八號 昭和十三年十二月二十四日 商工次官 村瀬 直養 海軍次官 山本五十六殿 官應用石油ノ消費規正ニ關スル件 官應用石油ノ消費規正ニ關シテハ七月三十日附一三燃		航空加俸 ミス
款	項	目	解	疏
(海軍燃料廠 作業費)(俸給)				會計科目 電信略號

海軍公報(部内限)第三千百十九號

昭和十四年一月二十六日

料第九一四號書面ヲ以テ揮發油ニ在リテハ乗用車用六〇%以上、乗用車用以外三〇%以上重油ニ在リテハ從來ヨリ一層強度ノ節減協力方得貴意置候處明年物資動員計畫ヨリスルトキハ更ニ相當強度ノ節減強化ヲ餘儀ナクセラレ一般消費者ニ對シテハ別記ノ如キ割合ノ規正強化ト相成ル豫定ニ付官廳用石油ノ消費ニ關シテモ右御含置ノ上明年一月以降乗用車用揮發油ニ在リテハ八〇%以上、乗用車用以外ノ揮發油及重油ニ在リテハ其ノ用途ニ從ヒ尠クモ夫々一般消費者ニ對スル規正率ト同程度ノ節減協力方特ニ御配慮相煩度此段得貴意候也

追而毎月ノ購入量並ニ消費量ニ關シテハ從來同様中央官廳ノ分ニ付テハ毎月五日迄ニ、地方廳ノ分ニ付テハ毎月十五日迄ニ當局ニ到達スル様御報告相煩度申添候

(別記)	(揮發油) 一月分	(規正率)
(種別)		
大型事業		四五%(四〇%)
大型事業		八五%(七〇%)
大型事業		六五%(五〇%)

貨物自動車	三五%(二五%)
自家用乗用車	八五%(七〇%)
特殊用車	三〇%(一五%)
ガソリンカー用	三五%(三〇%)
鑛工業其他用	二〇%(一二%)
漁船、船舶用	二五%(一五%)

(種別)	(重油) 一月分	(規正率)
鑛工業其他用		四六%(四〇%)
漁船用		二六%(一五%)
船舶用		二二%(一二%)

(註) 括弧内ハ從來ノ規正率ナリ
尙二月以降ハ更ニ規正率強化セラルル豫定ナリ

航本機密第六三三七號

昭和十四年一月二十五日

海軍航空本部長

關係各廳長殿

航空機用壓力計制定ノ件通牒

「フリップ」竝ニ脚引込用首題計器ヲ左ノ通定ム

記

<p>一、型式</p> <p>壓力計一型 最大 六〇²冠/²種</p> <p>壓力計二型 最大一五〇²冠/²種</p> <p>二、寸度</p> <p>計器寸度ハ標準小型(ナット附)トス</p> <p>外筐寸度及目盛様式ハ別圖ノ通トス別圖ハ所要ノ向ニ配付ス</p> <p>三、造修規格ハ別紙ニ依ル</p> <p>四、本型式ノモノヨリ單獨兵器トシ軍需部ヨリ必要ノ都度供給ス</p> <p>五、備考</p> <p>右壓力計一、二型使用ノ場合改造ヲ要スル事項次ノ如シ</p> <p>(一) 機體附屬部品中管接手ハ特型管接手袋「ナット」(海空No 126—4—6)トス</p> <p>(二) 機體附屬部品中管接手ハ特型管接手用「ニツプル」(海空No 127—5—6)トス</p>	<p>有馬 長太郎</p> <p>南支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限勅任官待遇トス</p> <p>中村 豊秋</p> <p>南支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上前海軍省)</p> <p>前川 清</p> <p>南支海軍特務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス</p> <p>但シ報酬年額參千圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(前同)</p> <p>野田 一誠</p> <p>支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス</p> <p>相良 左</p> <p>海軍軍事普及部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス</p> <p>集配手 山口 茂二</p> <p>(各通) 同 近藤 昇</p> <p>第四海軍軍用郵便所員ヲ命ス</p> <p>但シ身分ノ取扱ハ傭人トス(以上前同)</p> <p>海軍大佐 居谷 吉春</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○ 辭 令

海軍公報(部内限)第三千百十九號

昭和十四年一月二十六日

九五

<p>在東京監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 同 杉本 宇市 (各通) 同 板垣 行一 在大阪監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ 海軍主計大佐 服部 薫 在神戸監督長ノ命ヲ承ケ服務スヘシ(以上ハハハ海軍航空本部)</p>	<p>○雜款 ○旗艦一時變更 支那方面艦隊司令長官ハ一月二十四日旗艦ヲ一時墜田ニ變更セリ</p>	<p>○特務艦室戸行動豫定變更 地名 着 發 鎮海 一月二十六日 佐世保 一月二十七日 舞鶴 三十一日 吳 二月五日</p>	<p>○郵便物發送先 第七號掃海艇宛 自今 佐世保郵便局氣付</p>
<p>○郵便物發送先變更 特務艦室戸宛 一月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 二月一日迄ニ同 其ノ後ハ 吳 舞 鶴 佐 世 保</p>	<p>○採用考試問題發送 第三十九期高等科學生採用考試問題一月十九日發送濟備考 考試施行期日(昭和十三年十二月二十九日本欄參照) (海軍水雷學校)</p>	<p>○訂正 本月十三日本欄軍艦劍崎宛郵便物發送先中「二月一日迄大分縣佐伯」ヲ「二月四日迄横須賀」ト訂正ス</p>	

○艦船所在

指_△印_△ハ_△ホ_△フ_△
指_△定_△ヲ_△要_△セ_△ズ

○一月二十六日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔、五十鈴、山城、陸奥、巖島、多摩、春日、神威、利根、北上、劍崎、沖島、木曾、駒橋、蒼龍

▽曉、漣、狹霧、村雨、夕立、春雨、五月雨、沖風、叢雲

富士、洲崎、鳴戸、尻矢、膠州

飛龍、(高崎)、(掃一〇)

【長浦】

夏雲、朝雲、峯雲、神風、野風、沼風、波風、電、雷、響、山雲、帆風、島風、汐風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、伊一三、伊二四、伊六

【横濱】

襟裳

【浦賀】

(霞)、(不知火)、(掃八)、(掃一一)

【館山】

澤風

【大湊】

夕風

【函館】

大泊

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、漣、淺間、古鷹、加古、最上、鈴谷、神通、天龍、千代田、日向、夕顔、若竹、早苗、菊、葵、萩、薄

藤、葛、芙蓉、朝顔、刈萱、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、呂二八、伊五一、伊五七、伊五六、伊五八、伊七一、伊六六、伊六五、伊六七、伊七〇、伊六二、伊六四、伊六一、伊一、伊二、伊三、伊一二、伊二二

鷺、雁、攝津、隱戸

(伊一六)

大阪

(黒潮)

神戸

呂七七、呂五九、伊六八

(初風)、(伊二二)、(伊二〇)

相生

早鞆

(瑞穂)

因ノ島

旗風、春風

江田内

平戸

安下庄

白鷹、大井

徳山

石廊

宿毛

長門、伊勢、扶桑、霧島、金剛、山良、鬼怒、川内、大鯨

若葉、子日、初春、江風、海風、涼風、山風

伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、伊六三、伊五九、伊六〇、伊七

【佐伯】問宮
口鳥海、摩耶、▽熊野、三隈、▽那珂、
▽阿武隈

口隴、略、潮、口天霧、朝霧、夕霧、口初雪、
白雪、吹雪

口伊七五、伊七四、口伊七三、伊七二、
口伊三四、呂三三、伊八

【細島】口龍驤
口東雲、薄雲

【舞鶴】吾妻、高雄、長鯨、愛宕、迅鯨
敷波、磯波、白雲
伊五二

【佐世保】(叢) (陽炎) (親潮) (掃九)
榛名、那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、
千歳、能登呂、龍田、▽八重山

梨、竹、榧、桃、柳、楡、董、口葦、柿、
榆、口麥、蓬、菱、口水無月、阜月、
文月、長月、口大潮、朝潮、滿潮、荒潮、
口彌生、如月、卯月、夕月、口白露、有明、
夕暮、時雨、初霜、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、
呂六五、呂六七、口呂六八、呂六三、
伊六九

口真鶴、初雁、千鳥、女鶴

掃七

敷島、鶴見

(明石) (伊一八)

羽黒

佐多

(筑摩)

赤城

追風、疾風

浦波、綾波

室戸

出雲、▽安宅、鳥羽、勢多、口摩田、比良、
保津、熱海、二見、口足柄、球磨、口妙高、
名取、▽長良、嵯峨、勝力

栗、梅、蓮、口菊月、陸月、望月、三日月、
灘風、口夕風、朝風、口秋風、羽風、
太刀風、口松風、朝風

口隼、鴨、鶴、鴻、鳩、雉

口掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
口掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、口掃一七、
口掃一八

口朝日、野鳥、知床

【航海中】

口八雲、磐手 (二十二日「サイパン」發館山)

海軍公報

(部内限) 第三千二百二十號

海軍大臣官房

昭和十四年一月二十七日(金)

○ 辭 令

海軍主計少尉 高松 信夫
支那方面艦隊經費分任出納官吏ヲ免ス(支那支出官海軍省經理局長)

軍令部課長海軍大佐 松田 千秋
第三部第五課長ヲ命ス(軍令部)

海軍大佐 松田 千秋
參謀部第三部第五課長兼報道部第二課長ヲ命ス(海軍部)
大木營海軍部)

○ 雜 款

○將旗一時移揚
第二根據地隊司令官ハ一月二十五日將旗ヲ一時嗟峨ヨリ第十八號掃海艇ニ移揚セリ

○司令水雷艇變更
第一水雷隊司令ハ一月二十五日司令水雷艇ヲ鴨ヨリ隼

ニ變更セリ

○呂號第六十二潜水艦行動豫定
地名 着

佐世保 二月四日

二月二日

○郵便物發送先

呂號第六十二潜水艦宛

二月一日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
其ノ後ハ 吳海軍工廠内

特務艦膠州宛

一月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付

特務艇測天宛

一月三十日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
二月四日迄ニ 同 佐世保
其ノ後ハ 馬公

○採用考試問題發送

海軍公報(部内限) 第三千二百二十號 昭和十四年一月二十七日

海軍公報(部内限) 第三千二百二十號 昭和十四年一月二十七日

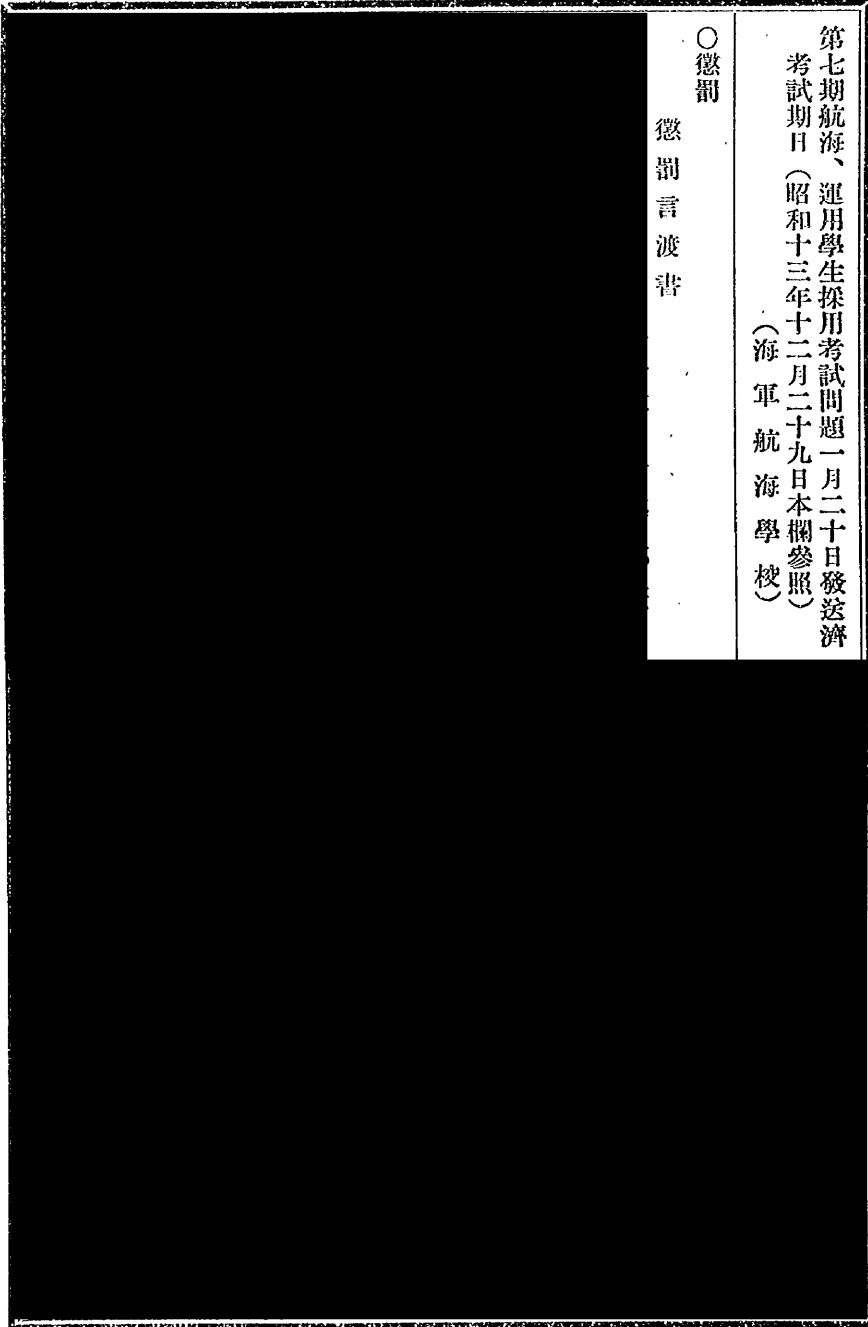
第七期航海、運用學生採用考試問題一月二十日發送濟

考試期日(昭和十三年十二月二十九日本欄参照)

(海軍航海學校)

○懲罰

懲罰言渡書



一〇〇

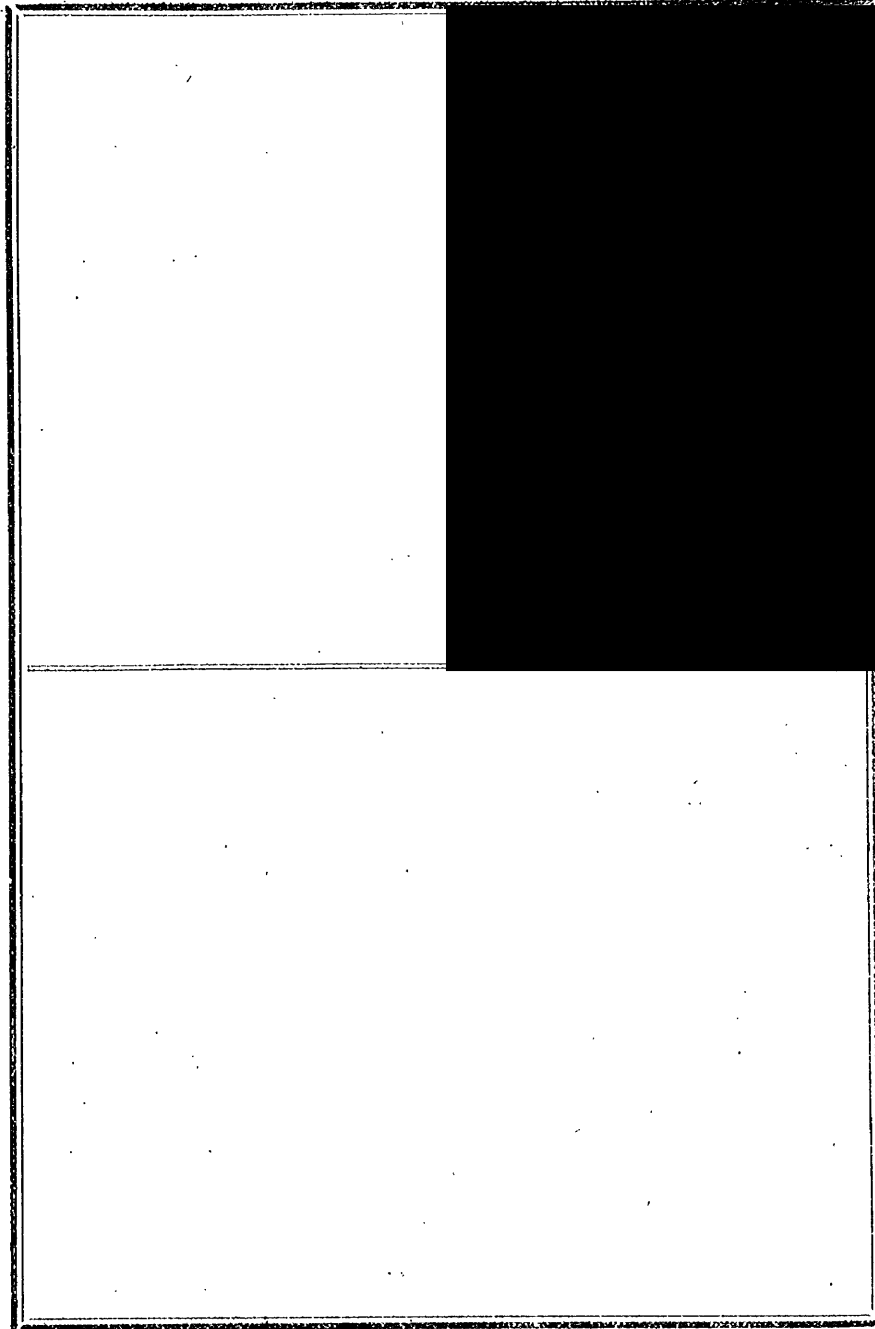
0147

海軍公報(部内限) 第三千二百二十號

昭和十四年一月二十七日

一〇一

0148



海軍公報(部内限) 第三千二百二十號
昭和十四年一月二十七日

一〇二

○艦船所在

▲印ハ、ホテ
指定ヲ要セズ

○一月二十七日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、陸奥、殿島、多摩、春日▲、神威▲、利根▲、北上▲、

劍埼▲、▷沖島、木曾、駒橋

▽晚、漣、狹霧、▽村雨▲、夕立▲、春雨▲、

五月雨▲、沖風

富士▲、洲埼▲、鳴戸、尻矢、膠州▲

(飛龍)▲(高崎)▲(掃一)▲

【長浦】

▽夏雲、朝雲、峯雲、▽神風、野風、沼風、波風、▽電、雷、響、山雲、帆風、▽島風、

沙風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

▽伊一二三、伊一二四、伊六

【横濱】

襟裳▲

【浦賀】

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲(掃一一)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

夕風

【函館】

太泊、吳竹▲、矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、古鷹▲、

加古、最上、鈴谷、神通、天龍▲、千代田、日向▲、

夕顔、若竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽薄▲

藤▲、葛▲、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▷矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、

呂二八▲、伊五一、▽伊五七▲、伊五六▲、

伊五八▲、伊七一▲、▽伊六六▲、伊六五▲、

伊六七、伊七〇▲、▽伊六二、伊六四、

伊六一、▽伊一、伊二、伊三、

▽伊一二一▲、伊一二二

鷺▲、雁▲

攝津、隱戸

(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】

呂七七▲、呂五九▲、▽伊六八

(初風)▲(伊二二)▲(伊二〇)▲

【相生】

早鞆▲

(瑞穂)▲

【因ノ島】

▽旗風▲、春風▲

【江田内】

平戸▲

【徳山】

白鷹、大井

【宿毛】

▽長門、伊勢、扶桑、▷霧島、金剛、▷山良、

鬼怒、▷川内、▽大鯨

▽若葉、子日、初春、▽江風、海風、涼風、

山風

▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、

▽伊六三、伊五九、伊六〇、伊七

間宮

海軍公報(部内限)第三千二百二十號 昭和十四年一月二十七日

一〇三

【佐伯】
▷阿武隈
▷熊野、三隈、▷那珂

▷天霧、朝霧、夕霧、▷初雪、
自雪、吹雪

▷伊七五、伊七四、▷伊七三、伊七二、

▷伊三四、呂三三、伊八

【細島】
▷龍驤

▷東雲、薄雲

【舞鶴】
▷吾妻、高雄、長鯨、愛宕、迅鯨

▷敷波、磯波、白雲

伊五二

(叢)▷(陽炎)▷(親潮)▷(掃九)▷

【佐世保】
▷椋名、那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、

千歳、能登、龍田、▷八重山

梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、▷葦、柿、

楡、▷蓼、蓬、菱、▷水無月、皐月、

文月、長月、▷大潮、朝潮、滿潮、荒潮、

▷彌生、如月、卯月、夕月、▷白露、有明、

夕暮、時雨、初霜、峯風

▷呂三〇、呂三一、呂三二、▷呂六〇、

▷呂六一、▷呂六二、▷呂六四、▷呂六六、

▷呂六五、▷呂六七、▷呂六八、▷呂六三、

▷伊六九

▷真鶴、初雁、千鳥、友鶴

▷掃七

【長崎】
▷救島、鶴見

(明石)▷(伊一八)▷

▷羽黒、

▷佐多

(筑摩)▷

▷赤城

▷追風、疾風

▷浦波、綾波

▷出雲、▷安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、▷足柄、球磨、▷妙高、

名取、▷長良、嵯峨、勝力

栗、母、蓮、▷菊月、睦月、望月、三月月、

灘風、▷夕風、朝風、▷秋風、羽風、

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

▷松風、朝風

【航海中】

▷八雲、磐手 (二十二日「サイパン」發―館山へ)

▷若龍、叢雲 (二十六日横須賀發―細島へ)

▷石廊 (二十六日徳山發―吳へ)

▷室戸 (二十六日鎮海發―佐世保へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百二十一號

海軍大臣官房

昭和十四年一月二十八日(土)

○通牒

軍需需第二二號

昭和十四年一月二十六日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

艦營需品定額表定數ニ關スル件通牒

今般達第十一號ヲ以テ改正相成候主計長主管艦營需品
消耗品美濃野紙半葉^甲ノ定數ニ就テハ舊美濃野紙半葉
ノ定數ヲ以テ右^乙甲共通ノ定數トシテ處理セシメラルル
義ト御承知相成度

○辭令

海軍技術會議議員ヲ命ス(二十五日海軍省)
員海軍造兵中佐 園田 又雄

○雜款

○特務艦室戶行動豫定

地名	着	發
吳	二月十四日	二月十三日
佐世保	二月十九日	二月十五日
橫須賀	二月二十五日	二月二十二日
吳	二月二十八日	二月二十七日
長崎	三月二日	三月二日
佐世保	三月五日	三月四日

○郵便物發送先

特務艦室戶宛	到達見込ノモノハ	發
二月十三日迄	同	吳
同 十四日迄	同	佐世保
同 二十一日迄	同	橫須賀
同 二十六日迄	同	吳
三月三日迄	同	佐世保
共ノ後ハ		吳

○艦船所在

▲印ハ「ハホ」指定ヲ要セズ

○一月二十八日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲五十鈴▲山城、陸奥、嚴島、多摩、春日▲神威▲利根▲北上▲

劍埼▲、▽沖島、駒橋、鈴谷

▽曉、漣、狹霧、▽村雨▲、夕立▲、春雨▲

五月雨▲、沖風

伊六

富士▲、洲崎▲、鳴戸、尻矢、膠州▲

(飛龍)▲(高崎)▲(掃一)○▲

【長浦】▽夏雲、朝雲、峯雲、▽神風、野風、沼風、波風、▽電、雷、響、山雲、帆風、▽島風、沙風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

伊一二三、伊一二四

【横濱】襟裳▲

【浦賀】(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲(掃一一)▲

【館山】▽八雲、磐手

【大湊】澤風▲

【函館】夕風

【吳】矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、古鷹▲、加古、最上、神通、天龍▲、千代田、日向▲

夕顔、若竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽薄▲

藤▲、葛▲、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、▽伊五七▲、伊五六▲

伊五八▲、伊七一▲、▽伊六六▲、伊六五▲

伊六七、伊七〇▲、▽伊六一、伊六四、

伊六一、▽伊一、伊二、伊三、

伊一二一▲、伊一二二

鷺▲、雁▲

攝津、隠戸、石廊

(伊一六)▲

【大阪】(黒潮)▲

【神戸】呂七七▲、呂五九▲、▽伊六八

(初風)▲(伊二二)▲(伊二〇)▲

【相生】早鞆▲

(瑞穂)▲

【因ノ島】▽旗風▲、春風▲

【江田内】平戸▲

【門司】白鷹、大井

【宿毛】▽長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽山良、鬼怒、▽川内、▽大鯨

▽若葉、子日、初春、▽江風、海風、涼風、山風

▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、

▽伊六三、伊五九、伊六〇、伊七

海軍公報(部内限)第三千二百二十一號 昭和十四年二月二十八日

【佐伯】戸島海、摩耶、戸熊野、三隈、戸那珂、

戸阿武隈

戸鹿、曙、潮、戸天霧、朝霧、夕霧、戸初雪、

白雪、吹雪

戸伊七五、伊七四、戸伊七三、伊七二、

戸伊三四、戸三三、伊八

【細島】戸龍驤

戸東雲、薄雲

【舞鶴】吾妻、高雄、長鯨、愛宕、迅鯨

敷波、磯波、白雲

伊五二

(霞) (陽炎) (親潮) (掃九) ▲

【佐世保】榛名、那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、

千歳、能登呂、龍田、戸八重山

梨、竹、榎、桃、柳、楡、董、戸葦、柿、

楡、戸蓼、蓬、菱、戸水無月、皐月、

文月、長月、戸大潮、朝潮、満潮、荒潮、

戸彌生、如月、卯月、夕月、戸白露、有明、

夕暮、時雨、峯風 ▲

戸三〇、戸三一、戸三二、戸六〇 ▲

戸六一、戸六二、戸六四、戸六六、

戸六五、戸六七、戸六八、戸六三、

伊六九 ▲

戸真鶴、初雁、千島、友鶴

掃七

【長崎】敷島、鶴見、室戸、佐多

(明石) (伊一八) ▲

【有明灣】戸赤城

追風、疾風

【鎮海】戸浦波、綾波

出雲、戸安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、

保津、熱海、二見、戸足柄、球磨、戸妙高、

名取、戸長良、嵯峨、勝力

栗、梅、蓮、戸菊月、睦月、望月、三日月、

灘風、戸夕風、朝風、戸秋風、羽風、

太刀風、戸松風、朝風

戸隼、鴨、鵲、鴻、鳩、雉

戸掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、

戸掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、戸掃一七、

掃一八

戸朝日、野島、知床

【航海中】

若龍、叢雲 (二十六日横須賀發―細島へ)

初霜 (二十七日佐世保發―宿毛へ)

木曾 (二十八日横須賀發―佐世保へ)

問宮 (二十八日宿毛發)

海軍公報(部内限)號外

昭和十四年一月二十八日(土)
海軍大臣官房

○通牒

軍需第二〇號

昭和十四年一月二十六日

海軍省軍需局長

關係各廳長殿

機關長主管艦營需品備品及消耗品供給ニ關スル件通牒

首題物品ハ今般官房第三三三號艦營需品定額表數量改正ニ依リ增加セラレタル運用長主管應急要具囊ノ内容
品ニ充當ノモノニ付左記數量供給方取計相成度

本品供給ニ對スル艦營需品定額表定數ハ追テ設定可相成候

記

名	艦		類別
	數	品名	
個	同	自在 螺廻 小大	第一類備品
個		鉗仔平	第一類備品
個	電二	電一 號携 燈帶	第二類備品
個		作業電燈	第二類備品
個		折尺乙	第三類備品
疋		銅針金	第五類消耗品
個		電球丙	第七類消耗品
米		衛 帶	第八類消耗品
疋		煉白鉛	消耗品第十二類
個	乾二	乾一 電池號	消耗品第十二類
個		乾電池 三號	消耗品第十二類
事	記		

海軍公報(部内限)號外

砲艦	海防艦	敷設艦	艦母水潜		水上機母艦	艦母空航		艦洋巡等二			一等巡洋艦	練習戰艦	戰艦		
			其ノ他	劍埼型		駒橋	其ノ他	赤城	加賀	其ノ他				利根型	最上型
				四			四	六			四		六		
				一			一				一				
四	六		一〇	六	四	一〇	一五	六		一〇		一五			
二	三	二	六	三	二	六	一〇	三		六		一〇			
				一			一				一				
				二			二	三			二		三		
一〇	一五	一四	二六	一五	一〇	二六	四〇	一五		二六		四〇			
				一			一				一				
				一			一	二			一		二		
二〇	三〇		五〇	三〇	二〇	五〇	七五	三〇		五〇		七五			
一八	二七	一八	五四	二七	一八	五四	九〇	二七		五四		九〇			
												ヲ示ス	ハ年額	ノ數量	消耗品

海軍公報 (部内限) 號外

二

0156

海軍公報 (部内限) 號外

特務艦	掃海艇	水雷艇	二等潜水艦	一等潜水艦	二等驅逐艦	一等驅逐艦
			四			
			一			
			四			
			二			
			一			
			二			
			一〇			
			一			
			一			
			二〇			
			一八			

三

海軍公報

(部内限) 第三千二百二十二號

海軍大臣官房

昭和十四年二月三十日(月)

○ 辭 令

通信書記 後藤 未彦

遞信局書記 森永 盾夫

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

通信事務員 中島 勇

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ雇員トス

集配手 岡邊 武士

第一海軍軍用郵便所員ヲ命ス

但シ身分ノ取扱ハ傭人トス(以上三官海軍省)

兼造船監督官 海軍技師 大倉彌一郎

玉監理官ヲ免シ長崎監理官ヲ命ス

兼造船監督官 海軍艦政本部附 梶田 邦夫

長崎監理官ヲ命ス(以上三官同)

海軍大佐 入船直三郎(艦本)

同 青木泰二郎(瑞穂)

(各通)

同 井上左馬太(艦本監)

海軍中佐 松尾 實(艦本)

同 三浦 速雄(同)

同 城 英一郎(軍令)

同 曾田 隆宗(艦本)

同 岡 友三郎(同)

同 垣田 照之(航本)

同 中野 實(艦本)

同 海軍少佐 山田 盛重(軍務)

同 中村 二郎(瑞穂)

同 浦田 輝次郎(同)

同 淺野 以文(同)

海軍機關大佐 島田 藤治郎(艦本)

海軍機關中佐 矢野 京松(瑞穂)

同 松尾 祐一(軍令)

同 小山 清行(艦本)

同 奥田 増藏(軍務)

海軍公報(部内限) 第三千二百二十二號 昭和十四年二月三十日

一〇九

海軍造船中佐 小田 勝治(艦本監)
 同 森川 信雄(艦本)
 海軍造機大佐 坂口 碌三(艦本監)
 軍艦瑞穂審議委員ヲ命ス(二十八日) 海軍艦政本部

○雜款

○旗艦復歸
 支那方面艦隊司令長官ハ一月二十六日旗艦ヲ墜田ヨリ
 早瀬ニ復歸セリ

○將旗一時移揚
 第二根據地隊司令官ハ一月二十七日將旗ヲ一時第三防
 備隊ニ移揚セリ

○郵便物發送先
 驅逐艦瀧風宛
 自今

横須賀

特務艦佐多宛
 自今

佐世保

舞鶴海軍通信隊上杉分遣隊宛

京都府何鹿郡東八田村上杉

同 新發田分遣隊宛

新潟縣北蒲原郡聖籠村

同 中北條分遣隊宛
 鳥取縣東伯郡中北條村
 各隊共達送料金 金參拾錢

○郵便物發送先ニ關スル件
 當隊宛郵便物延着ノ向多數有之ニ付自今左記ニ依リ送
 付相成度

記

第六海軍軍用郵便所氣付 第四防備隊
 (第四防備隊)

○採用考試問題發送
 昭和十四年度海軍練習航空隊高等科學生採用考試問題
 一月二十六日發送済
 (本月十三日本欄參照)
 (横須賀海軍航空隊)

○懲罰

懲罰言渡書



0159

海軍公報(部内限) 第三千百二十二號

昭和十四年二月三十日

一一一

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

0160

海軍公報（部内限）第三千二百二十二號

昭和十四年一月三十日

一一三

○艦船所在

▲印ハ「ハ」ホ「フ」
指定ヲ要セズ

○一月三十日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、陸奥、
巖島、多摩、春日▲、神威▲、利根▲、北上▲、
劍埼▲、▽沖島、鈴谷、▽八雲、磐手
▽曉、漣、狹霧、▽村雨▲、夕立▲、春雨▲、
五月雨▲、沖風

伊六

富士▲、洲崎▲、鳴戸、尻矢、膠州▲

(飛龍)▲(高崎)▲(掃一〇)▲

【長浦】

夏雲、朝雲、峯雲、▽神風、野風、沼風、
波風、▽電、雷、響、山雲、帆風、▽島風、
汐風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、
伊一二三、伊一二四

伊一二三、伊一二四

【横濱】

襟裳▲

【浦賀】

(霞)▲(不知火)▲(掃八)▲(掃一一)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

夕風

【函館】

大泊

【吳】

吳竹▲、矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、古鷹▲、
加古、最上、神通、天龍▲、日向▲、
夕顔、若竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽薄▲

藤▲、葛▲、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、▽伊五七、伊五六▲

伊五八▲、伊七一▲、▽伊六六、伊六五▲

伊六七、伊七〇▲、▽伊六一、伊六四、
伊六一、▽伊一、伊二、伊三、
伊一二一▲、伊一二二

伊一二一▲、伊一二二

鷺▲、雁▲

攝津、隱戸、石廊▲、間宮

(伊一六)▲

(黒潮)▲

【大阪】

呂七七▲、呂五九▲、▽伊六八

【神戸】 (初風)▲(伊二二)▲(伊二〇)▲

【相生】 早鞆▲

(瑞穂)▲

【因ノ島】 旗風▲、春風▲

【江田内】 平戸▲

【三河尻】 阿武隈

▽伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七二、
▽伊三四、呂三三、伊八

伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七二、
伊三四、呂三三、伊八

【宿毛】 長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽由良、
鬼怒、▽川内、▽大鯨

▽若葉、子日、初春、初霜、▽江風、海風、
涼風、山風

▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、

▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、

海軍公報(部内限)第三千二百二十二號

昭和十四年一月三十日

一一三

【佐伯】

伊六三、伊五九、伊六〇、伊七
鳥海、摩耶、熊野、三隈、那珂、
鷹、潮、天霧、朝霧、夕霧、初雪、
白雪、吹雪

【細島】

龍驤
叢雲

【舞鶴】

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、迅鯨
敷波、磯波、自雲

伊五二

【佐世保】

(敵) (陽炎) (親潮) (掃九)

榛名、那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、
千歳、能登呂、龍田、八重山

梨、竹、樵、桃、柳、檜、菫、葦、柿、
楡、蓼、蓬、菱、水無月、草月、
文月、長月、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、
彌生、如月、卯月、夕月、白露、有明、
夕暮、時雨、峯風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、
呂六五、呂六七、呂六八、呂六三、
伊六九

眞鶴、初雁、千鳥、友鶴
掃七

敷島、鶴見、蜜戸、佐多
(明石) (伊一八)

【長崎】

羽黒
(筑摩)

【有明灣】

蒼龍
東雲、薄雲

【鎮海】

浦波、綾波

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、足柄、球磨、妙高、
名取、長良、嵯峨、勝力、赤坂、
千代田、駒橋

栗、梅、蓮、菊月、陸月、望月、三日月、
灘風、夕風、朝風、秋風、羽風、
太刀風、松風、朝風、追風、疾風

隼、鴨、鵲、鴻、鳩、雉

掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八

朝日、野島、知床

【航海中】

木曾 (二十八日横須賀發—佐世保へ)
大井、白鷹 (三十日大分發—廣島灣へ)

海軍公報

(部内限) 第三千二百二十三號

海軍大臣官房

昭和十四年一月三十一日(火)

○通牒

官房第五五四號

昭和十四年一月三十一日

提 要

海 軍 次 官

各廳長殿

皇子御誕生ノ場合ニ於ケル儀禮ノ件通牒

近ク皇子御誕生可被爲在趣ニ候處右ノ場合ニ於ケル儀禮ハ左記ニ依リ施行ノコトニ定メラレ候

記

一、御誕生ノ際

祝電奉呈(各所屬長官)

參 賀(在京勅奏任官一般)

國旗掲揚(陸上各廳)當日(御誕生午後四時以後ノ場合ハ翌日)

後ノ場合ハ翌日)

二、御命名式當日

(イ) 參 賀(在京親任官待遇以上)

(ロ) 國旗掲揚(陸上各廳)
(備考)

祝電ハ天皇皇后兩陛下(宮内大臣經山)及皇太后陛下(皇太后宮大夫經山)ニ奉呈シ、參賀ハ宮城及大宮御所へ參内、參候ス

官房第五五五號

昭和十四年一月三十一日

提 要

海 軍 次 官

各廳長殿

從軍加算ニ關スル件通牒

昭和十三年六月二十二日附官房第三二七四號第二ノ二中「昭和十三年六月十六日」ヲ「昭和十三年十二月三十一日」ニ改メ別表中駐滿海軍部及臨時海軍防備隊ノ加算終期欄ニ「昭和一三、一一、一四」ヲ加ヘ備考ニ左記ヲ追加セラレ候

記

五 昭和十三年六月十七日以後第四豫備艦船等ニシテ

海軍公報(部内限) 第三千二百二十三號

昭和十四年一月三十一日

一一五

<p>乘員ヲ置カレザルモノノ保管員トシテ勤務ノ者ヲ除ク</p>	<p>海人第二五號 昭和十四年一月三十一日 海軍省人事局長</p> <p>各廳長殿 恩給年叙勳年加算ニ關スル件通牒 官房第五五五號ヲ以テ從軍加算ノ件通牒相成候處右ノ内艦船ニ對スル加算始終期ハ恩給、年敘勳年加算調書追録ニ依リ追テ發布セラルベキモ共ノ應ノ見込ニ依リ一應戰地外職務トシテ計算ノ上手續相成度</p>	<p>海人第二六號 昭和十四年一月三十一日 海軍省人事局長</p> <p>各廳長殿 履歷書記入方ノ件通知 官房第五五五號通牒ニ依ル加算事項ノ履歷書記入方ニ付テハ昭和十三年六月二十二日海人第一六八號ヲ準用シ處理ノコトト了知相成度</p>
<p>○ 辭令</p> <p>海軍武官任用委員ヲ命ス 海軍中將 鹽澤 幸一</p> <p>海軍武功調査委員ヲ命ス 海軍大佐 松田 千秋</p> <p>海軍軍事普及部委員ヲ命ス(以上皆海軍省)</p>	<p>○ 雜款</p> <p>○ 旗艦復歸 第二航空戰隊司令官ハ一月二十八日旗艦ヲ龍驤ヨリ若龍ニ復歸セリ</p> <p>○ 將旗復歸 第二根據地隊司令官ハ一月二十九日將旗ヲ第三防備隊ヨリ嵯峨ニ復歸セリ</p>	<p>○ 郵便物發送先 練習艦隊司令部、軍艦八雲宛 自今 横須賀</p> <p>軍艦警手宛 二月 四 日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀 其ノ後ハ 佐世保</p>

吳防備戰隊司令部、矢風宛

二月一日迄ニ到達見込ノモノハ

同 五日迄ニ同

其ノ後ハ

吳 佐 伯

驅逐艦峯風宛

自今

鹿兒島縣花岡郵便局氣付

水雷艇鷲宛

自今

佐世保郵便局氣付

○郵便物發送先變更

特務艦室戸宛

自今

佐世保郵便局留置

○書類發送先

當隊宛送金ノ通常爲替拂渡局ヲ往々龜山局ニ指定スル
向有之候モ拂戻ニ非常ナル不便ト手續ヲ要シ候ニ付自
今左記郵便局指定ノ事ニ御取計ヲ得度

記

三重縣河藝郡白子町郵便局

(鈴鹿海軍航空隊)

○艦船所在

指▲印▲ハ▲ホ▲
定▲シ▲要▲セ▲ズ▲

○一月三十一日午前十時調

【横須賀】

對馬、夕張、鳳翔▲、五十鈴▲、山城、陸奥、

巖島、多摩、春日▲、神威▲、利根▲、北上▲、

劍埼▲、▽沖島、鈴谷、▽八雲、磐手

▽曉、漣、狹霧、▽村雨▲、夕立▲、春雨▲、

五月雨▲、沖風

伊六

富士▲、洲崎▲、鳴戸、尻矢、膠州

(飛龍)▲、(高崎)▲、(掃一〇)▲

【長浦】

▽夏雲、朝雲、峯雲、▽神風、野風、沼風、

波風、▽電、雷、響、山雲、帆風、▽島風、

汐風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五八、

▽伊一二三、伊一二四

【横濱】

襟裳▲

【浦賀】

(霞)▲、(不知火)▲、(掃八)▲、(掃一一)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

夕風

大泊

【函館】

吳竹▲

【吳】

矢矧、韓崎、比叡▲、淀、淺間、古鷹▲、

加古、最上、神通、天龍▲、日向▲

夕顔、若竹、早苗、▽菊、葵、萩、▽薄▲

藤▲、葛▲、▽芙蓉、朝顔、刈萱、▽矢風

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、▽伊五七▲、伊五六▲

伊五八▲、伊七一▲、▽伊六六▲、伊六五▲

伊六七、伊七〇▲、▽伊六一、伊六四、

伊六一、▽伊一、伊二、伊三、

▽伊一二一▲、伊一二二

鷺▲、雁▲

攝津、隱戸、石廊▲、間宮

(伊一六)▲

【大阪】

(黒潮)▲

【神戸】

呂七七▲、呂五九▲、▽伊六八

【相生】

(初風)▲、(伊二二)▲、(伊二〇)▲

【因ノ島】

(瑞穂)▲

【江田内】

平戸▲

【廣島灣】

大井、白鷹

【三田尻沖】

▽阿武隈

【宿毛】

▽伊七五、伊七四、▽伊七三、伊七二、

【毛】

▽呂三四、呂三三、伊八

【長門】

伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽山良、

【若葉】

鬼怒、▽川内、▽大鯨

【若葉】

▽若葉、子日、初春、初霜、▽江風、海風、

【涼風】

山風

海軍公報(部内限)第三千二百二十三號

昭和十四年一月三十一日

【佐伯】

伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、伊六三、伊五九、伊六〇、伊七
鳥海、摩耶、熊野、三隈、那珂、
白雲、吹雪、
霧波、磯波、白雲

【細島】

【舞鶴】

吾妻、高雄、長鯨、愛宕、迅鯨、
敷波、磯波、白雲、
伊五二

【佐世保】

(霞) (陽炎) (親潮) (掃九)
那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登呂、
龍田、千歳、八重山、
梨、竹、榎、桃、柳、檜、萱、葦、柿、
榆、蓼、蓬、菱、水無月、皐月、
文月、長月、大潮、朝潮、滿潮、荒潮、
彌生、如月、卯月、白露、有明、
夕暮、時雨、峯風
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六二、呂六四、呂六六、
呂六五、呂六七、伊六九
真鶴、初雁、千鳥、友鶴
掃七
敷島、鶴見、室戸、佐多
(明石) (伊一八)

【寺島水道】

榛名

【長崎】

羽黒

【有明灣】

蒼龍

【鎮海】

浦波、綾波

【作業地】

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、足柄、球磨、妙高、
名取、長良、磯峨、勝力、赤城、
千代田、駒橋、
栗、榎、蓮、菊月、睦月、望月、三日月、
灘風、夕風、朝風、秋風、羽風、
太刀風、松風、朝風、追風、疾風
隼、鴨、鶴、鴻、鳩、雉
掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
掃一六、掃一三、掃一四、掃一五、掃一七、
掃一八
朝日、野島、知床

【航海中】

木曾 (二十八日横須賀發—佐世保へ)

【呂六八、呂六三】

(三十日佐世保發—港外へ)